

決算審査内容の主なもの

質問 各種税の滞納問題は法的対処も含め、特別な対策を求む。

答弁 納税に誠意が見られない滞納者には、滞納整理、また法的措置を講じる考えです。設立が予定されている「愛媛地方税整理回収機構（仮称）」に当町も内容を検討し参加したい考えです。

質問 時間外勤務手当について勤務実態に偏りがあり、適正な人員配置についての考えを求む。

答弁 毎年各所属長の意見を聴取しながら、適正人員を配置しています。業務の性格上恒常的に多い課があるが、職員の健康管理上問題にならないよう指示しています。

質問 一般廃棄物収集運搬業務の委託先決定は公正・公平で明朗な仕組みの制度の導入を。

答弁 委託基準として「業務を遂行するに足る施設、人員及び財政的基礎を有し、相当の経験を有

する」と定めており、経済性の確保よりも、業務の適正な遂行を重視しているとして随意契約を行っていません。

質問 早船川のカキ殻浄化システムの実験は早期に結論を出し、別の浄化方法を求む。

答弁 実証施設として、設置しており、水質改善等一定の効果は現れていますが、別の浄化方法で対応するには、研究、調査等が必要となり、今後は費用対効果を考慮した経費の削減を図ります。

質問 将来、監理が伴うコンサルタント、設計委託料の入札が公正・公平で明朗になるよう改善を。

答弁 国または一部の自治体で最低制限価格を設定している事例もあり、今後の検討課題です。入札契約については、プロポーザル方式、コンペ方式などの方法もあり、検討し採用します。

質問 福祉バス検討委員会での運行方法の方向性と決意を問う。

答弁 新年度のスタートに向け、運営委員会では、運行方法、利用条件、運行路線、回数、時間などの検討を行っています。福祉センターや、各施設の利用を積極的に広報し利用者の拡大を図ります。

質問 元伊予銀行跡地の広場の活用は行政が主導して本来の目的となるよう再度求む。

答弁 多目的広場であり、町も気を配るが、地域の皆さんが自由に広場を利用

活用し活性化するのが基本です。

質問 昨年指摘した、水道事業の漏水対策を行い有収率の改善を求めた事項の結果は。

答弁 13年度より漏水対策をしており、今回23ヶ所発見し、内規模の大きい4ヶ所を修理しました。16年度の有収率は91.94%にアップすると予想され、今後も漏水調査を実施していきます。

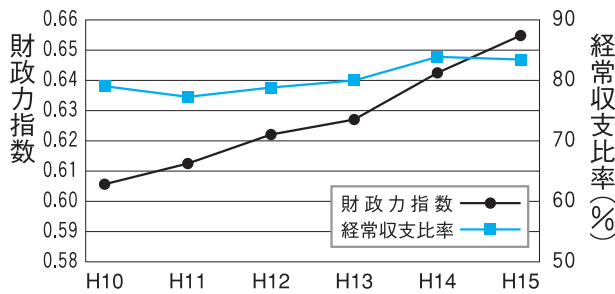
●決算認定とは●

決算の認定は、議会が町長から提出された歳入歳出決算書に基づき、歳入歳出予算の執行結果を確認し、その執行が適法に行なわれたかどうか審査するものです。すなわち、適正な予算執行がなされているか、期待した行政効果が達成されているか、予定した財源は確保されているかなどに留意して審査するものです。



福祉バス

財政力指数・経常収支比率の推移



起債残高・公債費の推移

